



## 9/29 研修を通して、地域の課題を発見 令和5年度 ゆがふう塾最終報告会



中部圏の振興発展を担う、関係市町村の人材育成を目的に実施している「ゆがふう塾」市町村職員研修事業の最終報告会が読谷文化センターにて行われ、各市町村から17名の職員が参加しました。塾長を務めた名城大学教授の宮平栄治氏は「これまでにないアイデアの発案など、塾生たちの取り組みに年々進歩している傾向が見られました。今後ともゆがふう塾のさらなる発展を期待しています」と総評しました。

## 10/2 国際感覚を養い、社会で活躍できるように 『基地内学童との交流事業』報告



宜野湾青年会議所の皆さんと児童代表6名が市役所を訪れ、「基地内学童との交流事業」の報告を行いました。参加した子どもたちは、基地内の学童で行われる様々なプログラムを通して、国際交流を行いました。長田小学校5年の岩淵瑠夏さんは「初日は、緊張と不安でいっぱいでしたが、いざ基地に入ってみると、とても面白く親切な人が多いことを知りました」と話しました。

## 10/7 地域で集い、話せる場をつくりませんか? ぎのわん地域づくり塾2023 入塾式



普天間3区公民館にて「ぎのわん地域づくり塾2023」の入塾式が行われ、市内外から14名の方々が参加しました。地域づくり塾は、協働による「誇りと愛着の生まれる、住んで良かったと思えるまちづくり」に重きを置き、毎回テーマとなる地区を変えて実施しています。今年度は「普天間第二小学校区」をモデルとし、全8回のプログラムを通して、新たな地域活動を行うための知識や繋がりを学んでいきます。

## 9/30 子どもたちが描く「ぎのわんの文化財」 ぎのわんの文化財図画作品展表彰式



市立博物館において、第31回「ぎのわんの文化財図画作品展」表彰式が行われました。今年は、小学校中学年の部46点、小学校高学年の部37点、中学校の部45点の応募があり、各部門ごとに、受賞した児童生徒が表彰されました。博物館の平敷兼哉館長は「それぞれの個性が十分に表れた良作ばかりでした。この作品展を通して文化財に愛着をもってもらえたら嬉しいです」と激励しました。

## 10/3 これからも、深い繋がりを大切に ハワイ沖縄連合会および次世代リーダー研修生



研修のため沖縄を訪れているハワイ沖縄連合会の関係者と研修生の皆さんが訪れました。この研修は、ハワイと沖縄の関係性を深め、継続的に促進するための次世代リーダー育成を目的に実施しています。今回の研修生の中で本市にルーツをもつトリス・タナカさんとトリス・タサトさんは「ハワイに帰っても宜野湾市や沖縄の文化を紹介していきたい。これからも繋がりをもち続けたいです」と抱負を述べました。

## 市政 フラッシュ

### 9/28 自見内閣府特命担当大臣（沖縄および北方対策）キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地視察



自見英子内閣府特命担当大臣がキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地を視察されました。松川正則市長並びに琉球大学の西田睦学長、大屋祐輔病院長が事業の進捗状況について説明し、沖縄健康医療拠点整備の実現に向けて引き続きの支援を求めました。

## 9/19 支援の輪が広がることを願って ハワイ・マウイ島大規模火災救援金贈呈式



8/8（火）に、ハワイ・マウイ島で発生した大規模火災により、島に甚大な被害が出たことをうけ、被災された方々の支援および被災地の復興の一助となることを目的とした救援金の贈呈式が行われ、市からの救援金100万円と、市役所職員から募った募金78,625円が、日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈されました。救援金は、日本赤十字社にて取りまとめたのち、国際赤十字機関を通じて復興支援に役立てられます。

## 9/28 思いを届けられるような演奏を 嘉数中学校吹奏楽部 金賞受賞!



嘉数中学校吹奏楽部の皆さんが市役所を訪れ、「第42回沖縄県マーチングフェスティバル」において金賞を受賞し、福岡県で開催される「第41回九州マーチングコンテスト」に出場することを報告しました。部長の宮城梨優さんは「指導していただいた顧問の先生やスタッフの皆さんに感謝の気持ちを持って、九州大会では思いを届けられるような演奏ができるように頑張っていきたいです」とあいさつしました。

## 9/28 地域住民の良き相談相手として 法務大臣感謝状伝達式



那覇地方法務局沖縄支局において、法務大臣感謝状伝達式が行われ、宜野湾市から、令和5年6月30日任期満了に伴い勇退された波平道子さん（4期12年）と前田美恵子さん（3期9年）へ法務大臣感謝状が伝達されました。受賞者の波平道子さんは「子ども人權教室を行い、とてもいい経験になりました。次世代を担う子ども達と関わることができ、大変勉強になりました」と語りました。

## 9/20 あげた手は いのちをしらせる 警報機 秋の全国交通安全運動宜野湾地区出発式



市社会福祉センターにて、9/21（木）～9/30（土）の期間に行われる「令和5年秋の全国交通安全運動」の宜野湾地区出発式が行われました。幕開けには、社会福祉法人 鳳友福祉会 愛善保育園の園児によるエイサーが披露され、出発式を盛り上げました! 9/25（月）には、地区交通安全協会と共に「ねばねば、ねばって飲酒運転ゼロ!」を目指して、オクラ100袋とチラシ、交通安全啓発グッズの配布を行い、広く市民へ交通安全の啓発を呼びかけました。

## 9/28 市民の声を届けていただき、感謝申し上げます 市議会から政策等の提言書を手交



4月から5月にかけて市議会が実施した「第8回議会報告および市民との意見交換会」で寄せられたご意見・ご要望をもとに協議・検討した政策等の提言書が、呉屋等議長、伊波一男副議長および市議会各委員長から市長へ手交されました。政策等の提言書を受け取った松川市長は「市議会でもとめていただいた提言を市長として重く受け止め、取り組んでまいります」と話しました。

## 9/28 地域に根差した幅広い活動を行います 教育委員辞令交付式



宜野湾市教育委員辞令交付式が行われ、市内在住の大川実さんに辞令が交付されました。大川委員は、学校教育の現場において教職員として従事し、大謝名小学校において校長を務められました。退職後も、民生委員や地域活動において役員を務めるなど、地域に根差した幅広い活動を行ってまいります。大川委員は「今までの経験のひとつでも、市のために寄与できれば幸いです」とあいさつしました。